
目 次

徹底解説 本試験問題シリーズの刊行にあたって

試験制度解説編

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 情報処理技術者試験と試験制度概要 | 8 |
| 2. 受験ガイド | 20 |
| 3. 基本情報技術者試験の概要 | 24 |
| 4. 平成 22 年度秋期の試験に向けて | 29 |

平成 21 年度春期試験 問題と解答・解説編

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 午前問題 | H21 春- 1 |
| 午後問題 | H21 春- 33 |
| 午前問題 解答・解説 | H21 春- 91 |
| 午後問題 解答・解説 | H21 春-128 |
| 午後試験 試験センター発表の出題趣旨と採点講評 | H21 春-171 |

平成 21 年度秋期試験 問題と解答・解説編

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 午前問題 | H21 秋- 1 |
| 午後問題 | H21 秋- 33 |
| 午前問題 解答・解説 | H21 秋- 99 |
| 午後問題 解答・解説 | H21 秋-134 |
| 午後試験 試験センター発表の出題趣旨と採点講評 | H21 秋-177 |

平成 22 年度春期試験 問題と解答・解説編

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 午前問題 | H22 春- 1 |
| 午後問題 | H22 春- 37 |
| 午前問題 解答・解説 | H22 春-117 |
| 午後問題 解答・解説 | H22 春-155 |
| 午後試験 試験センター発表の出題趣旨と採点講評 | H22 春-204 |

<付録>

| | |
|-----------------------------------|------|
| 基本情報技術者試験 | 付- 1 |
| (1) 基本情報技術者試験 午前問題出題分析 | |
| ・問題番号順 | 付- 2 |
| ・午前の出題範囲順 | 付- 8 |
| (2) 午前の出題範囲 | 付-14 |
| (3) Java プログラムで使用する API の説明 | 付-22 |
| (4) アセンブラ言語の仕様 | 付-23 |
| (5) 表計算ソフトの機能・用語 | 付-29 |
| (6) 午後問題予想配点表 | 付-33 |
| (7) 解答用マークシート〔午前共通, 午後年度別〕 | 付-37 |

商標表示

各社の登録商標及び商標、製品名に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分に尊重いたします。

3. 基本情報技術者試験の概要

3-1 基本情報技術者試験の対象者像

基本情報技術者試験の対象者像は、次のように規定されています。業務と役割、期待する技術水準、レベル対応も示されています。

| | |
|----------|--|
| 対象者像 | 高度 IT 人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けた者 |
| 業務と役割 | 基本戦略立案又は IT ソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事し、上位者の指導の下に、次のいずれかの役割を果たす。 1. 需要者（企業経営・社会システム）が直面する課題に対して、情報技術を活用した戦略立案に参加する。 2. システムの設計・開発を行い、又は汎用製品の最適組合せ（インテグレーション）によって、信頼性・生産性の高いシステムを構築する。また、その安定的な運用サービスの実現に貢献する。 |
| 期待する技術水準 | 1. 情報技術を活用した戦略立案に関し、担当業務に応じて次の知識・技能が要求される。 ① 対象とする業種・業務に関する基本的な事項を理解し、担当業務に活用できる。 ② 上位者の指導の下に、情報戦略に関する予測・分析・評価ができる。 ③ 上位者の指導の下に、提案活動に参加できる。 2. システムの設計・開発・運用に関し、担当業務に応じて次の知識・技能が要求される。 ① 情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、担当業務に活用できる。 ② 上位者の指導の下に、システム設計・開発・運用ができる。 ③ 上位者の指導の下に、ソフトウェアを設計できる。 ④ 上位者の方針を理解し、自らソフトウェアを開発できる。 |
| レベル対応 | 共通キャリア・スキルフレームワークの 5 人材像（ストラテジスト、システムアーキテクト、サービスマネージャ、プロジェクトマネージャ、テクニカルスペシャリスト） のレベル 2 に相当 |

図表 11 基本情報技術者試験の対象者像

3-2 試験時間と出題形式

新試験制度における基本情報技術者試験の試験時間と出題形式は次のとおりです。旧試験制度（平成 20 年度まで）と同じで変更はありません。

| | 午前 | 午後 |
|---------|----------------------|-----------------------|
| 試験時間 | 9：30～12：00 (150分) | 13：00～15：30 (150分) |
| 出題形式 | 多肢選択式（四肢択一） | 多肢選択式 |
| 出題数と解答数 | 80 問出題 80 問解答 | 13 問出題 7 問解答 |

図表 12 基本情報技術者試験の試験時間と出題形式

3-3 出題範囲

(1) 旧試験制度で実施されていた試験との対応関係

新試験制度の基本情報技術者試験と、旧試験制度の基本情報技術者試験の対応関係は、次のように説明されています。

基本情報技術者試験（レベル 2）

- ・午前試験では、現行の基本情報技術者試験*と同じ分野をカバーする。午後試験では、テクノロジー系については現行の基本情報技術者試験*と同じ分野をカバーするとともに、新たにマネジメント系、ストラテジ系を追加し、幅広い分野から万遍なく出題する。
- ・試験問題のレベルは、現行の基本情報技術者試験*とほぼ同じ。

（アイテック注：平成 20 年度まで実施されていた試験を指す）

図表 13 新試験と旧試験との対応関係

(2) 基本情報技術者の午前試験

午前試験では、受験者の能力が期待する技術水準に達しているかどうかについて、“知識”が問われます。図表 4「試験区分別出題分野一覧表」で示されているように、基本情報技術者の午前試験では、大分類すべて（基礎理論、コンピュータシステム、技術要素、開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム戦略、経営戦略、企業と法務）が出題分野になります。これらは、名称は異なりますが、旧試験制度の試験範囲と対応しています。